

オリンピック・パラリンピック ボランティア最終希望者数

東京都、オリンピック・パラリンピック大会組織委員会

オリンピック・パラリンピック大会組織委員会は、1月24日、2020年の大会を支えるボランティアの最終募集者数を発表した。それによると目標としていた8万人の2倍以上となる20万4680人となった。応募者の64%が女性で、年代別では20代が36%、10代・50代が各14%、30代・40代が各13%、外国籍の方が36%であった。活動分野の一番人気は「競技」で、募集の7倍にあたる約12万人が希望した。今後、2～7月に全国各地で説明会と面談を実施して9月頃に採否を決定する予定である。10月から共通研修を行い、来年3月に具体的な役割と活動する会場が決定する。また、決定後、辞退者が続出するリスクを避けるため、組織委員会は、人選にあたって面談を重視する考えである。

大会ボランティア Field Cast の活動分野と募集人員・最終募集者数

- ・案内 16000人～25000人 ・ 6万381人
観客や大会関係者の案内、チケットの確認等のサポート
- ・競技 15000人～17000人 ・ 11万9430人
競技に必要な備品の管理、競技運営等のサポート
- ・移動サポート 10000人～14000人 ・ 6566人
大会関係者等を車に乗せて移動のサポート
- ・アテンド 8000人～12000人 ・ 5万2721人
外国語で要人を接遇、選手のインタビューをサポート
- ・運営サポート 8000人～10000人 ・ 6万2371人
ボランティアの活動をサポート、競技会場や選手村でのサポート
- ・テクノロジー 2000人～4000人 ・ 1万7931人
通信機器の貸し出し、競技会場で結果の入力や表示

